

名誉市民に中村さん

戸田市初 病院創設で多大な貢献

戸田市は27日、戸田中央総合病院の創設者で戸田中央医科グループ会長の中村隆俊さん(88)に名誉市民の称号を贈ることを決めた。同日、開かれた市議会本会議で賛同が得られたことから発表した。10月1日に予定している市制施行50周年記念式典で表彰を行う。戸田市の名誉市民は2015年10月に条例を施行して以来、初の適用。

「ありがとつ。これからも戸田市のために尽くします」と話した。さらに「国の勲章をもらった時より、戸田市からいただいた第1号の方がうれしい」と喜びを語った。

中村さんは11年の夏ごろから体調を崩し、しばらく戸田中央総合病院で療養していたが、最近は回復に向かい、ロータークラブや医科グループなど主要な会合に出席し、元気な姿を見せている。名誉



戸田市の初の名誉市民に決まった戸田中央医科グループ会長の中村隆俊さん(市提供)

市民授賞の知らせにも元気な声で取材に応じた。

市によると、授賞の主な理由は「長年にわたり市民から厚い信頼を得て、医療、福祉、保健で多大な貢献をした。さらにボート、ソフトボール、ラグビーなどのスポーツ分野、花と緑の環境活動、社会奉仕活動など多様な分野で市の発展に積極的に寄与した」としている。

中村氏は1927年、北海道瀬棚町(現せたな町)出身。50年、北海道大学医学部卒業と同時に上京、東京医科大学でインターンを務めるなどし、兄の故哲夫氏(後に板橋中央医科グループ会長)、弟の秀夫氏(現上尾中央医科グループ会長)らと3人で板橋中央病院(現板橋中央総合病院)で医業に励んだ。62年に戸田市で戸田中央病院(現戸田中央総合病院)を開設。現在は28病院、6老健施設を傘下を持つ戸田中央医科グループの会長を務めている。(岸鉄夫)

